

科目

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活営む態度を養う。	オリエンテーション 授業の進め方、持ち物、授業内のルール、評価方法、その他の注意 1. ライフステージと健康 ライフステージと健康について理解する。 社会からの法的支援があり利用できるようにする。 2. 思春期の体と心の健康 思春期の体と心の健康について、男女の違いを含めて理解する。 思春期の心の問題について自分で解決できないときは、周囲のサポートを求めよう。	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくり が関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 ・定期考査、小テストなど 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・ノートやプリントの内容など	○	○	○	3
		3. 性意識と性行動の選択 性意識の男女差、セクハラ、ストーカー行為、デートDV、信頼できる性情報と性行動の選択について理解する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・欠出席、授業態度、提出物など	○	○	○	2
		4. 妊娠・出産と健康 受精から妊娠、出産、産褥期の健康課題について理解する。		○	○	○	2
		・定期考査 ・答案返却、解説		○	○		2
		A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活営む態度を養う。	5. 避妊法と人工妊娠中絶 家族計画、避妊法、人工妊娠中絶について意義や注意点について理解する。 6. 結婚生活と健康 家族計画、避妊法、人工妊娠中絶について意義や注意点について理解する。 7. 中高年期と健康 加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できるようにする。 高齢社会に必要な社会的取り組みについて例をあげて説明できるようにする。	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくり が関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 ・定期考査、小テストなど 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・ノートやプリントの内容など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・欠出席、授業態度、提出物など	○	○	○
2 学 期				○	○	○	2
				○	○	○	2

3 学 期		8. 働くことと健康 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できるようにする。 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できるようにする。		○	○	○	2
		9. 労働災害と健康 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できるようにする。 労働災害を防止するために必要なことをあげることができるようにする。		○	○	○	2
	・定期考査 ・答案返却、解説			○	○		2
	A 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	10. 健康的な職業生活 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できるようにする。 余暇を積極的にとることの意義について説明できるようにする。	【知識・技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくり が関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 ・定期考査、小テストなど 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・ノートやプリントの内容など 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・出欠席、授業態度、提出物など	○	○	○	2
3 学 期	B 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1. 大気汚染と健康 大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できるようにする。 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できるようにする。	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることを理解している。 ・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用する。 ・定期考査、小テストなど	○	○	○	2
		2. 水質汚濁、土壌汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できるようにする。 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できるようにする。	【思考・判断・表現】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・ノートやプリントの内容など	○	○	○	2
		3. 環境と健康にかかわる対策 環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できるようにする。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。	【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○		2
	・定期考査 ・答案返却、解説			○	○		合計 33